

## 令和2年度 晩餐会 見送りのお知らせ

協会理事・会員及び協賛会社各位

令和2年3月25日

満開の桜が春の訪れを伝える中、本協会発足以来の緊急事態となり、改めまして皆様にご理解とご協力をお願いを申し上げたく誌面をお借りいたします。

令和2年が始まったばかりの頃、新型コロナウイルス（COVID-19）が中国の春節とともに私たちを取り巻く社会を騒がせ始めました。瞬く間に一定の地域内で感染が想定よりも急増するエピソードから、一定の地域を超えた広範囲で同時に流行するパンデミックと宣言されるまでに拡散しました。甚大な被害が拡がり続け、経済活動を含め閉じ込められた状況を打破できずに、オリンピック・パラリンピックまでもが延期となりました。

このような中、私ども協会は、昨年の暮、上海での国際会議・コンクールをキャンセルするという厳しい決断を強いられました。それに伴い、今回ヤングシェフコンクールで選抜されていた選手の落胆の気持ちを思い、そのモチベーションを維持していただくよう力添えを各理事・会員の方々にお願いしましたこと、心から感謝と御礼を申し上げます。

加えて、6月の総会・晩餐会開催について相当の覚悟を持った決断が必要な局面を迎えました。終息をあざ笑うかの如く世界を混乱に巻き込んでいる新型コロナウイルスは、私たち協会に携る多くの方々の生活環境を著しく蝕んでいます。

このパンデミックから家族や愛する人を守り、私たちが今までに直面した最大の危機に対処すべく、令和2年度の総会・晩餐会に関しては特別な形として晩餐会のみ見送りの判断に至り、会員、関係各位のご理解とご協力をお願いする次第です。

私たちは、私たち全員でこの困難な時期を乗り越えるために、状況の変化に対応しつつさらに進化しすべての会員が理想とする解決策を見つける努力をいたします。

会員皆さんの総意として必要最低限に活動を減らし、危機の進行状況を見極めてまいります。そして終息宣言の後は、従来の環境下に活動を戻し進化への道を探求いたします。

この努力、探求こそが、私たちエスコフィエ・スピリットを分かち合うアプランティに望まれていることと捉えています。

皆様、一緒にこの難局を乗り越えましょう。

一般社団法人 日本エスコフィエ協会  
会長 福田 順彦